

# 横浜港新規心頭 公有水面埋立事業

計 画 段 階 環 境 配 慮 書

説明資料

国土交通省関東地方整備局

横 浜 市

# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・P.43

# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・P.43

# 1 事業の必要性

## (1) コンテナ船の大型化への対応

物流の効率化のため、コンテナ船の大型化が進展しており、水深18m以上に対応した岸壁の整備が必要となっています。

## (2) ロジスティクスパーク（物流拠点）の整備

輸入貨物の取扱いを強化するため、高度な流通加工機能を有するロジスティクス施設をコンテナターミナル背後に集積させます。

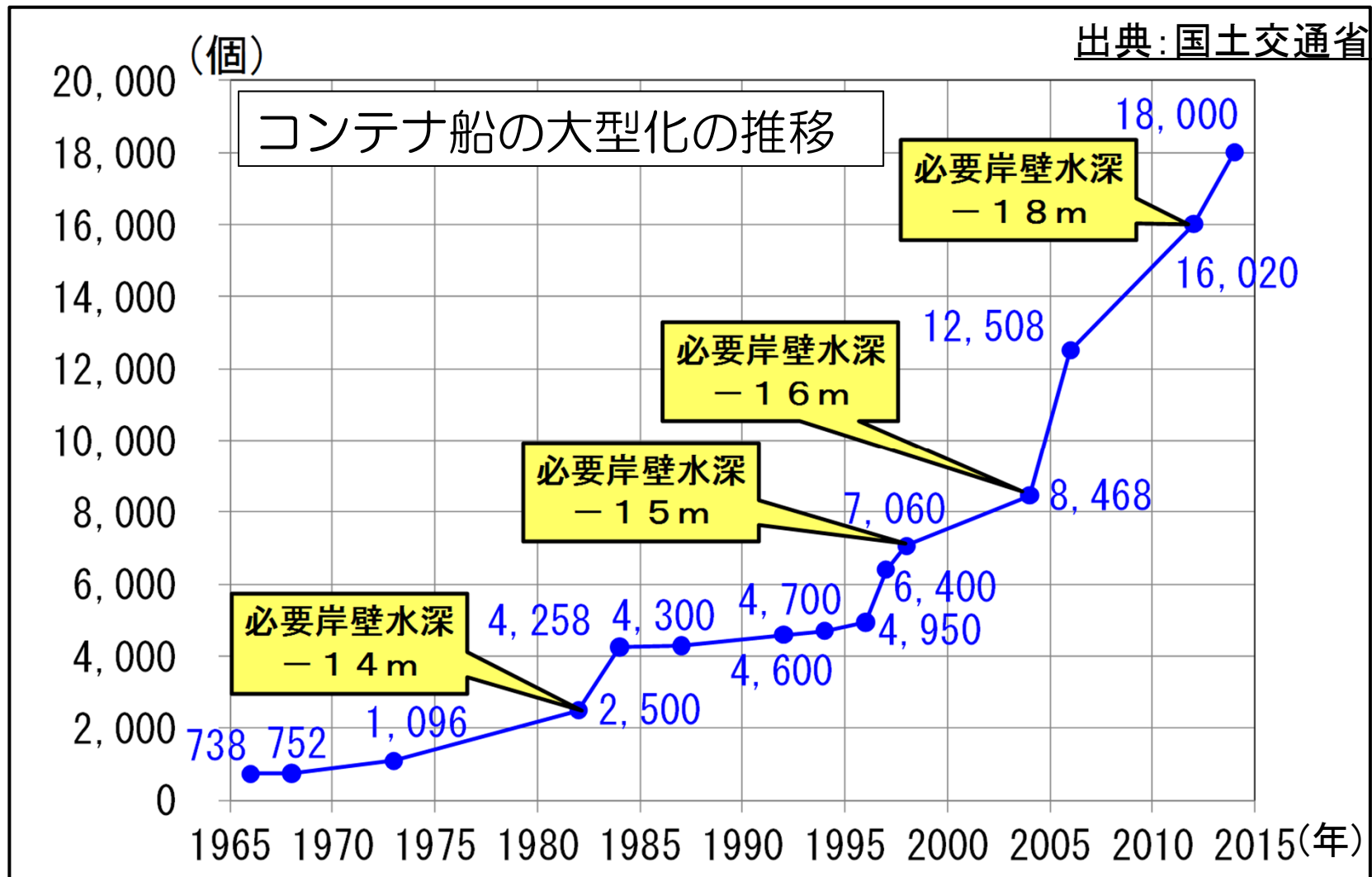
## (3) 建設発生土の活用

横浜市の公共事業等から発生する土砂を埋立てに活用します。

# 1 事業の必要性

## (1) コンテナ船の大型化への対応

コンテナ船の大型化に対応した水深18m以上の岸壁を整備する必要があります。



# 1 事業の必要性

## (2) ロジスティクスパーク（物流拠点）の整備

### 釜山港におけるロジスティクス・ハブ機能の集約など創貨の取組 国土交通省

釜山新港では、以下のような国策としての手厚い支援措置により、流通加工系企業の誘致を強力に進めており、背後には日本資本参加企業も含め、物流施設が多数立地。




〈支援措置の例〉

- ・低廉な用地価格
- ・法人税・所得税、固定資産税等の一定期間免除
- ・関税制度の優遇（原料課税、製品課税の選択が可能等）

#### 強力な企業誘致策により立地が進む釜山新港背後の物流団地

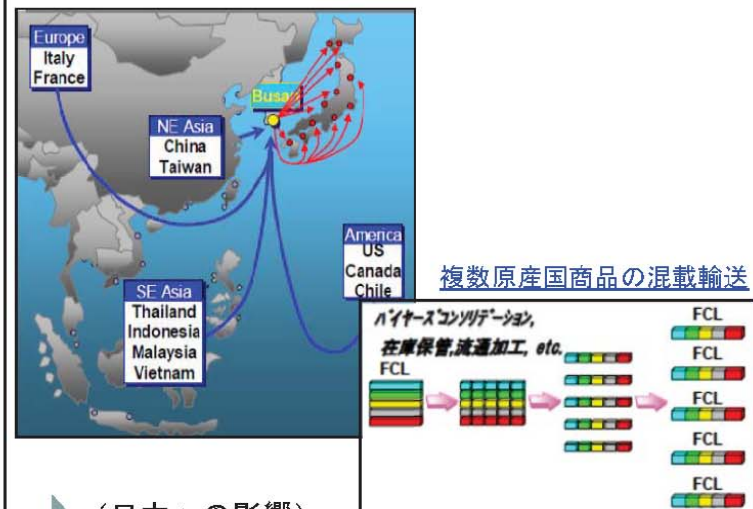


釜山新港背後の流通加工団地

 運営中	170ha
 2015年までに供用	504ha
 2020年までに供用	269ha
合計	943ha

#### (事例)A社の釜山港の保税倉庫

- ・韓国企業との合弁会社を設立
- ・釜山港のFTZ内で保税倉庫による事業を展開
- ・保税倉庫に海外産品を集約し、加工後に日本の最寄り港へ揚陸



➡ (日本への影響)  
 ・基幹航路の貨物量減による国際競争力の低下等

# 1 事業の必要性

## (3) 建設発生土の活用

横浜市の公共事業等から発生する土砂を埋立てに活用します。



南本牧ふ頭の埋立て（イメージ）

# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・P.43



## (1) 対象事業を実施しようとする者の氏名及び住所 ■対象事業実施区域

## 1. 事業予定者の名称

- ①国土交通省 関東地方整備局
- ②横 浜 市

## 2. 代表者の氏名

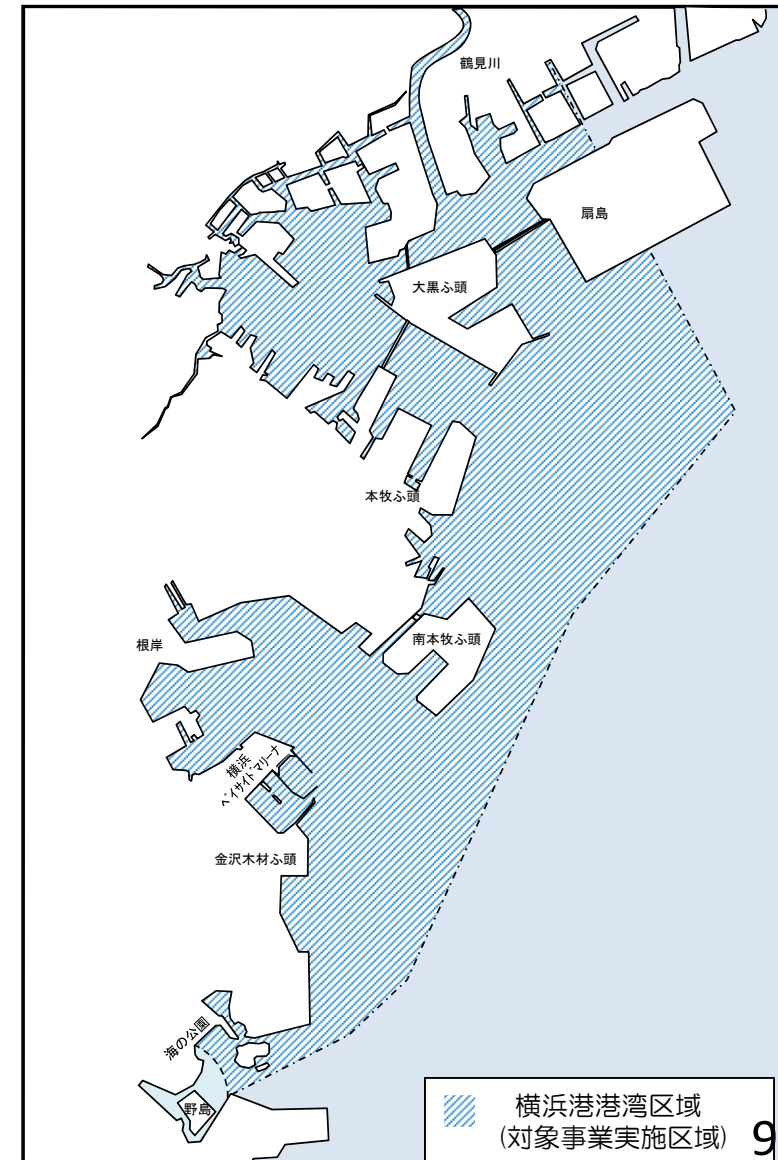
- ①関東地方整備局 局長 大西 亘
- ②横 浜 市 市長 林 文子

## 3. 事業予定者の住所

- ①埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1号
- ②神奈川県横浜市中区港町1丁目1番地

## (2) 対象事業の内容

事業名	横浜港新規ふ頭公有水面埋立事業
対象事業の種類	公有水面の埋立
対象事業の規模	約140ha（第一種事業）
対象事業実施区域	横浜港港湾区域内



### (3) 位置等の複数案の設定

#### ①位置等の複数案の設定

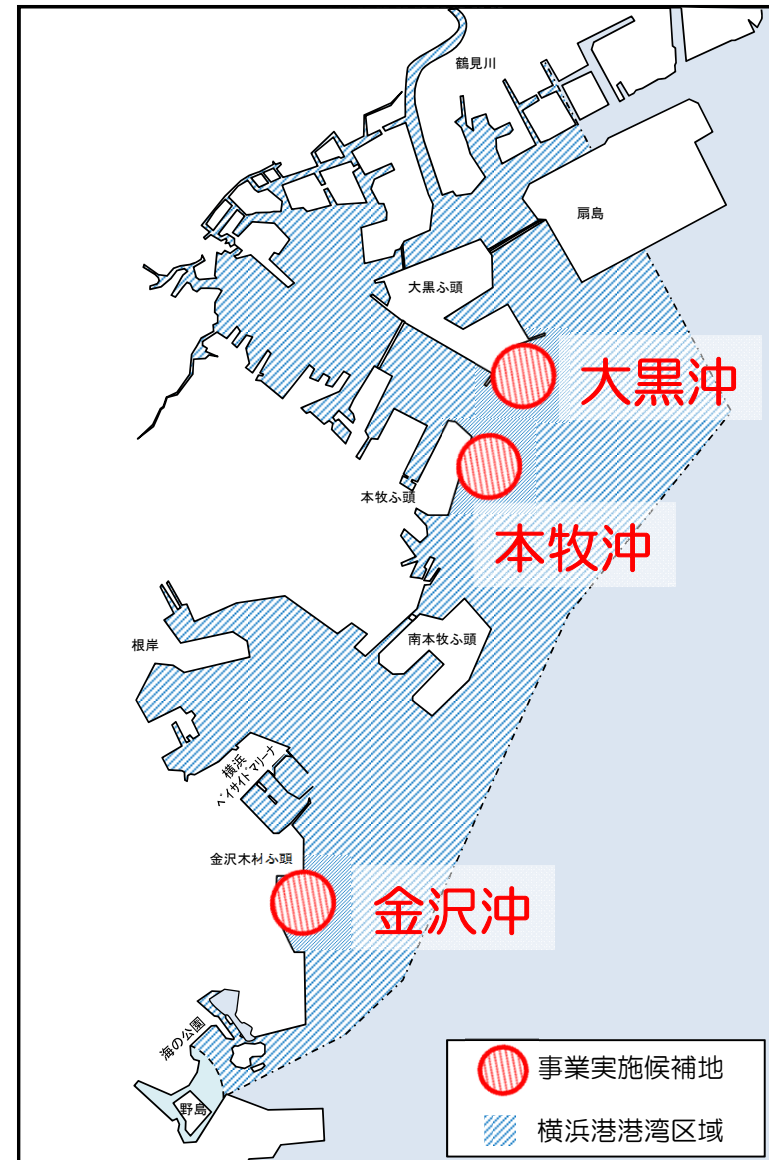
以下の3海域を設定

- だいこく
- 大黒沖
- ほんもく
- 本牧沖
- かなざわ
- 金沢沖

#### ②設定理由

横浜港において、物理的に確保できる空間の状況や広域的な道路ネットワークへのアクセスなどを勘案し設定。

#### ■事業実施候補地



# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12**
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・P.43

# 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況

## 自然的状況

### (水質)

- 化学的酸素要求量(COD)経年変化はA類型の海域では過年度より環境基準値を満足していない状況  
B・C類型の海域は概ね減少傾向

### (地形・地質)

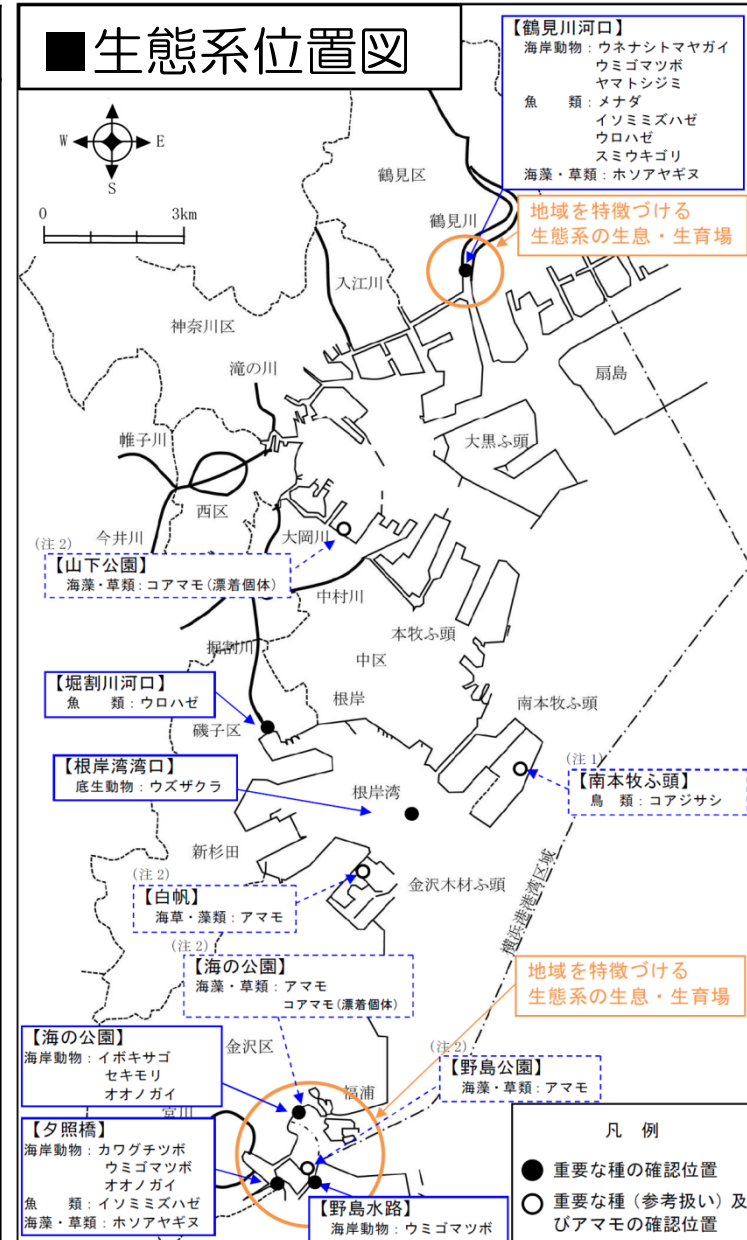
- 埋立候補地に隣接する陸域は、**全て埋立地**

### (藻場・干潟)

- 横浜港及びその周辺海域において**藻場、自然干潟等は存在しない**

### (植物・動物)

- 環境省レッドリスト掲載種を確認**



## 社会的状況

### (水域利用)

- 横浜港の水域は、**物流を中心とした港湾関連活動**のほか、**水上交通や海洋性レクリエーション、環境活動などの多様な利用**
- 内港地区を中心とした**臨海部の開発**も進み、**親水空間**としても利用

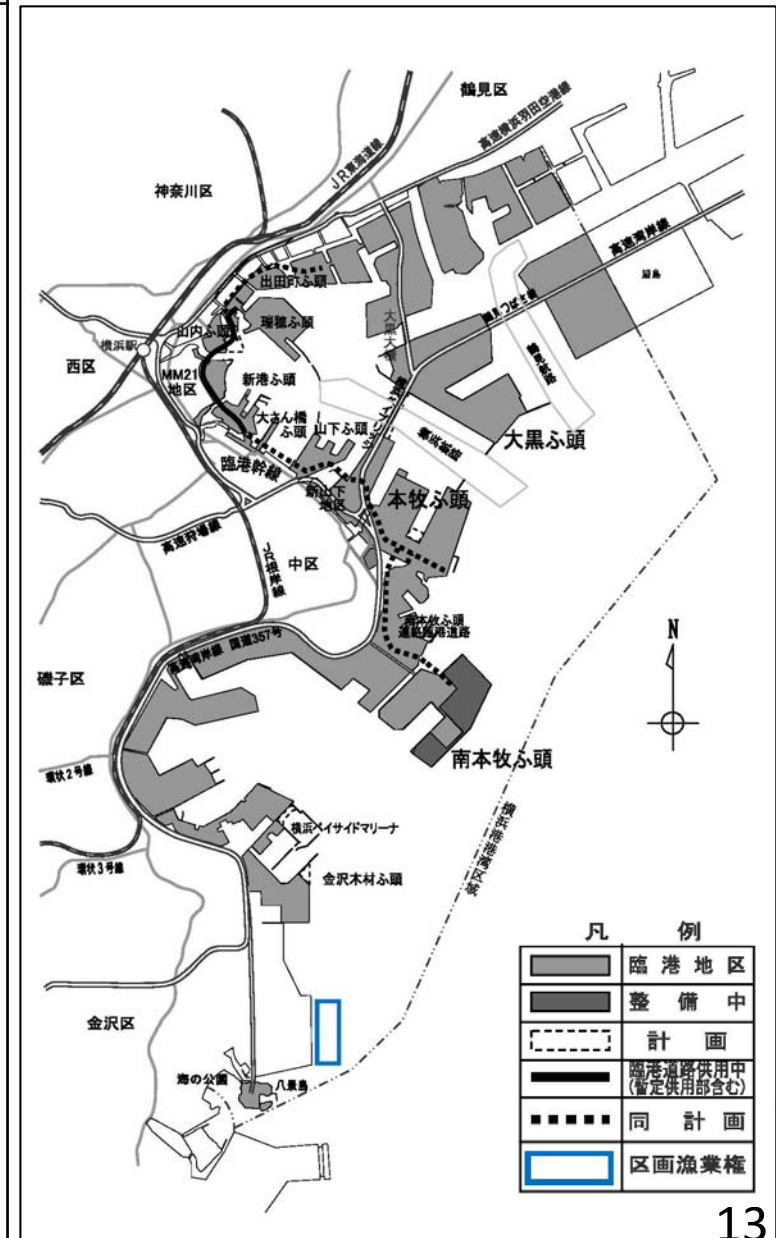
### (海上交通)

- 横浜港は、我が国を代表する貿易港**
- 平成27年の横浜港の港勢は、入港船舶数35,979隻、取扱貨物量 1億1,474万t

### (漁業)

- 横浜港港湾区域内のうち、**金沢沖に区画漁業権**が設定

## ■横浜港平面図



# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15**
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・P.43

4

計画段階配慮事項の選定及び選定理由

環境要素		影響要因	選定	選定した理由・選定していない理由
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水環境	水質	○	埋立地の存在に伴う海水の流れの変化に伴い、周辺海域の水質及び水底の底質に影響が及ぶおそれがある。
		水底の底質	○	
		地下水の水質及び水位	-	埋立地の存在による地下水への影響は想定されない。

環境要素		影響要因	選定	選定した理由・選定していない理由
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	○	埋立地の存在による海水の流れの変化により、周辺の自然の海岸等に影響が及ぶおそれがある。
		地盤	-	埋立地の存在による地盤沈下は想定されない。
		土壌	-	土壌汚染をもたらす廃棄物等の受入を想定していない。



## 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由

配慮書p.41～43

環境要素		影響要因	選定	選定した理由・選定していない理由
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	土地又は工作物の存在	○	埋立地の存在に伴う海水の流れや水質等の変化により、動物の重要な種の生息環境、植物の重要な種の生育環境、地域を特徴づける生態系の生息・生育環境に影響を及ぼすおそれがある。
	植物		○	
	生態系		○	

## 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由

配慮書p.41～43

環境要素		影響要因	選定	選定した理由・選定していない理由
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	土地又は工作物の存在	○	埋立地の存在に伴い、主要な眺望点からの眺望景観、及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場に影響を及ぼすおそれがある。
	人と自然との触れ合いの活動の場		○	

# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20**
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・P.43

### ■調査の手法

調査は、国や地方公共団体等の**既存資料を収集・整理・解析する手法**としました。

### ■予測の手法

予測は、**既存資料※**を用いて、埋立地の概ねの位置から**影響を検討する範囲を設定し、影響検討範囲内、及びその周辺における各環境要素への影響について、簡易的に定量予測を行う手法、あるいはそれを基にした定性予測を行う手法**としました。

- ※・「埋立ておよび海底地形の改変等に伴う漁業影響モニタリング調査暫定指針」の考え方をもとに設定
- ・「面整備事業環境影響評価技術マニュアル[Ⅱ]」（建設省都市局都市計画課監修）における「影響を受けるおそれがあると認められる地域」の考え方をもとに設定

### ■調査の結果（水質・水底の底質）

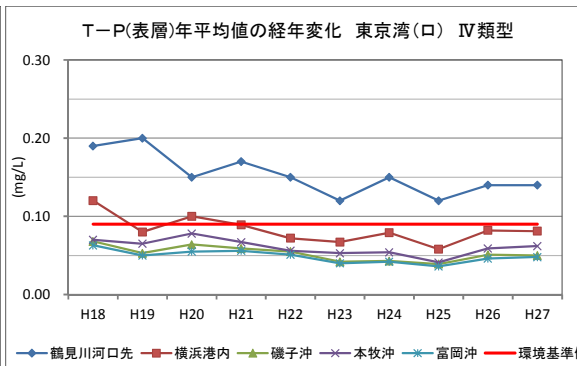
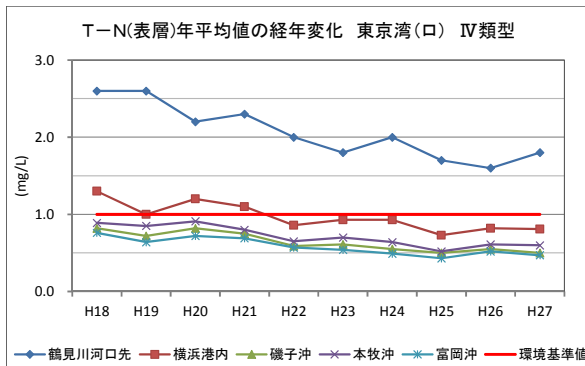
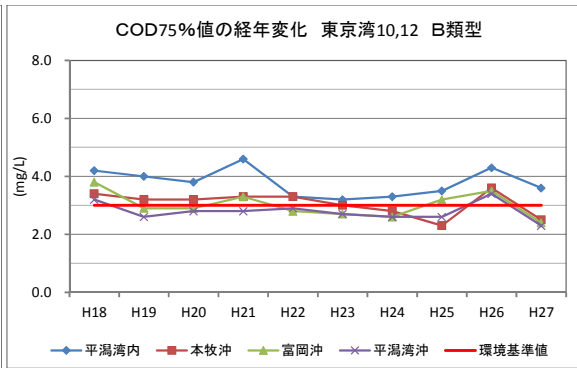
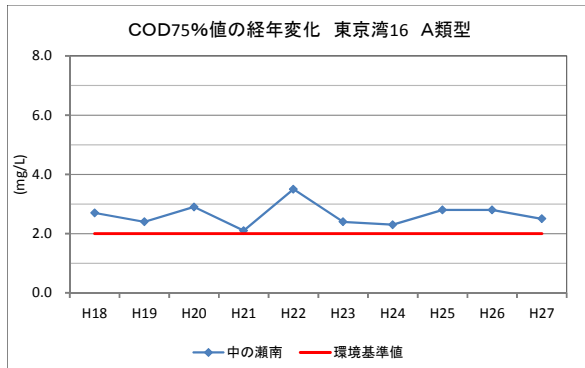
#### ①水質

- 平成27年度の公共用水域水質調査結果によると、健康項目は、いずれの地点も環境基準値を満足
- 平成27年度のCOD75%値は中の瀬南（A類型）、平潟湾内（B類型）で環境基準値を超過
- T-N及びT-Pの表層の年平均値（IV類型）はともに鶴見川河口先（大黒ふ頭北側海域）で環境基準値を超過

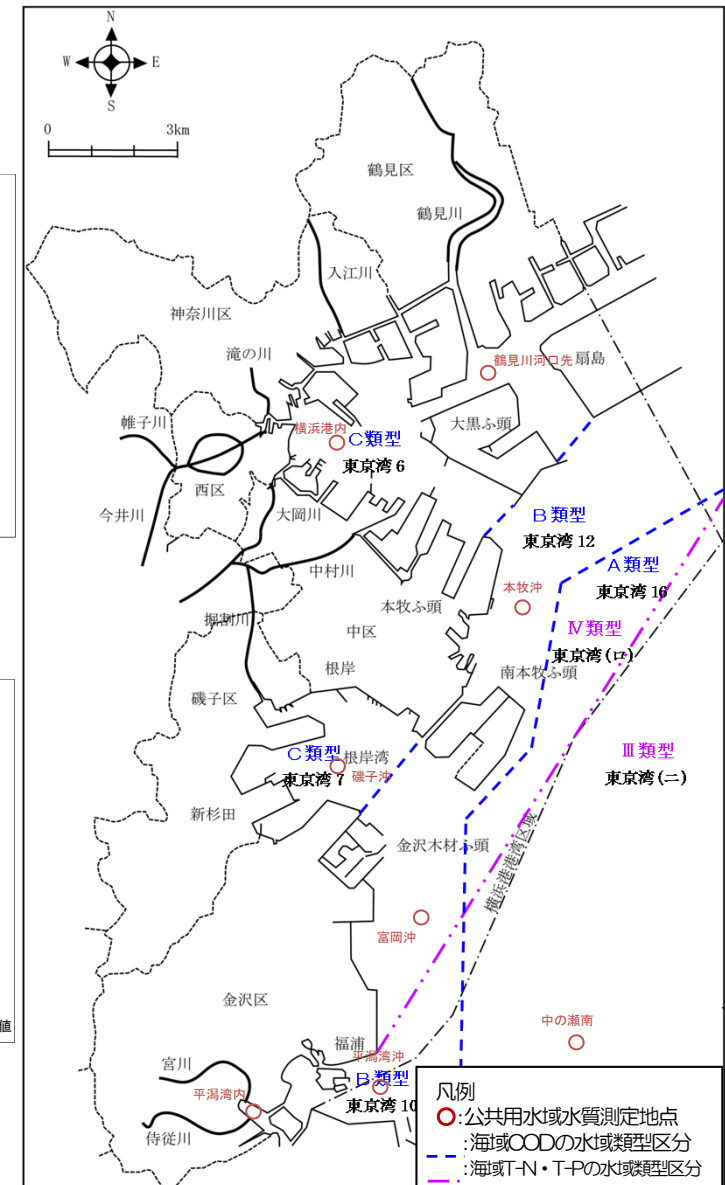
#### ②水底の底質

- 全地点とも環境基準（ダイオキシン類）及び水底土砂に係る判定基準を満足

## 調査の結果（水質）



## 環境基準の水域指定状況



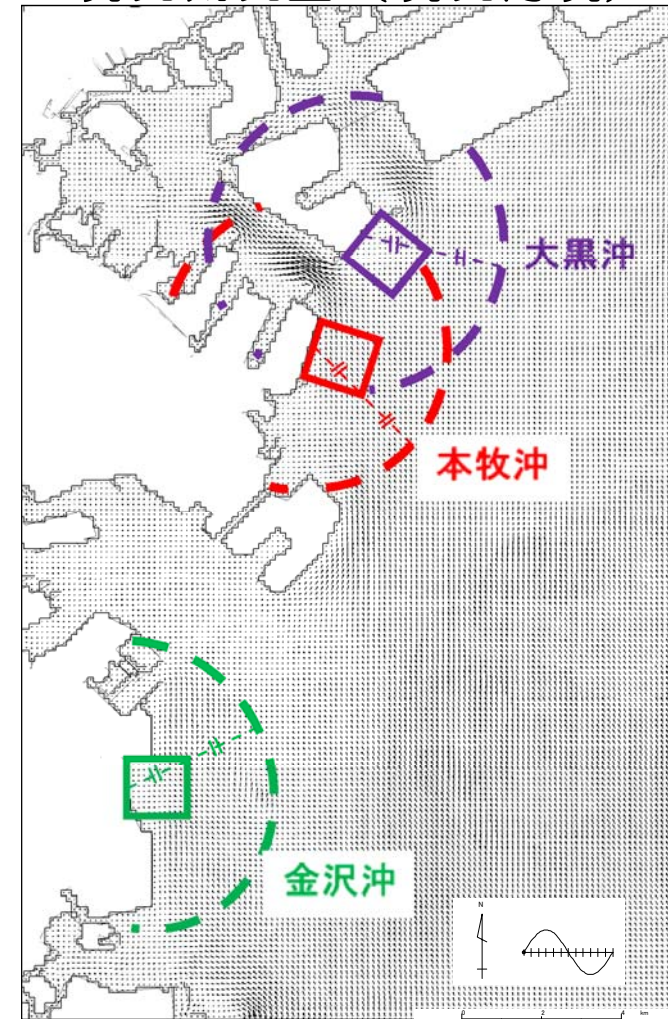
### ■ 予測の結果（水質・水底の底質）

- 各候補地の影響を検討する範囲を設定するため、約140haの正方形を想定
- 埋立地の概ねの位置から影響を検討する範囲（以下、「影響検討範囲」という。）は、既存資料等より埋立候補地から約2.7kmの範囲として設定

■ 予測の結果（水質・水底の底質）

埋立候補地	影響検討範囲	水質等への影響
大黒沖	半径約 2.7km内	埋立地の存在により港内(本牧・大黒防波堤より奥部)の海水交換に影響を与える可能性があることから、 <b>水質変化、及び水底の底質の細粒分の堆積等</b> が生じるおそれがあります。
本牧沖		
金沢沖	半径約 2.7km内	水質への影響は他案に比べて、小さいと考えられます。水底の底質については、埋立地の存在に伴う流れの変化により、 <b>周辺海域に細粒分の堆積等</b> が生じるおそれがあります。

■ 現況流況図（現況再現）



【上げ潮最強時（表層）】

: 埋立候補地  


 : 影響検討範囲



### ■調査の結果（地形及び地質）

- 沿岸部のほとんどが埋立造成により形成された人工地形
- 鶴見川下流域、大岡川沿い、宮川下流域に、砂堆・砂州地形が存在
- 金沢区にある野島海岸は、市内に残された唯一の自然海岸

【野島海岸】

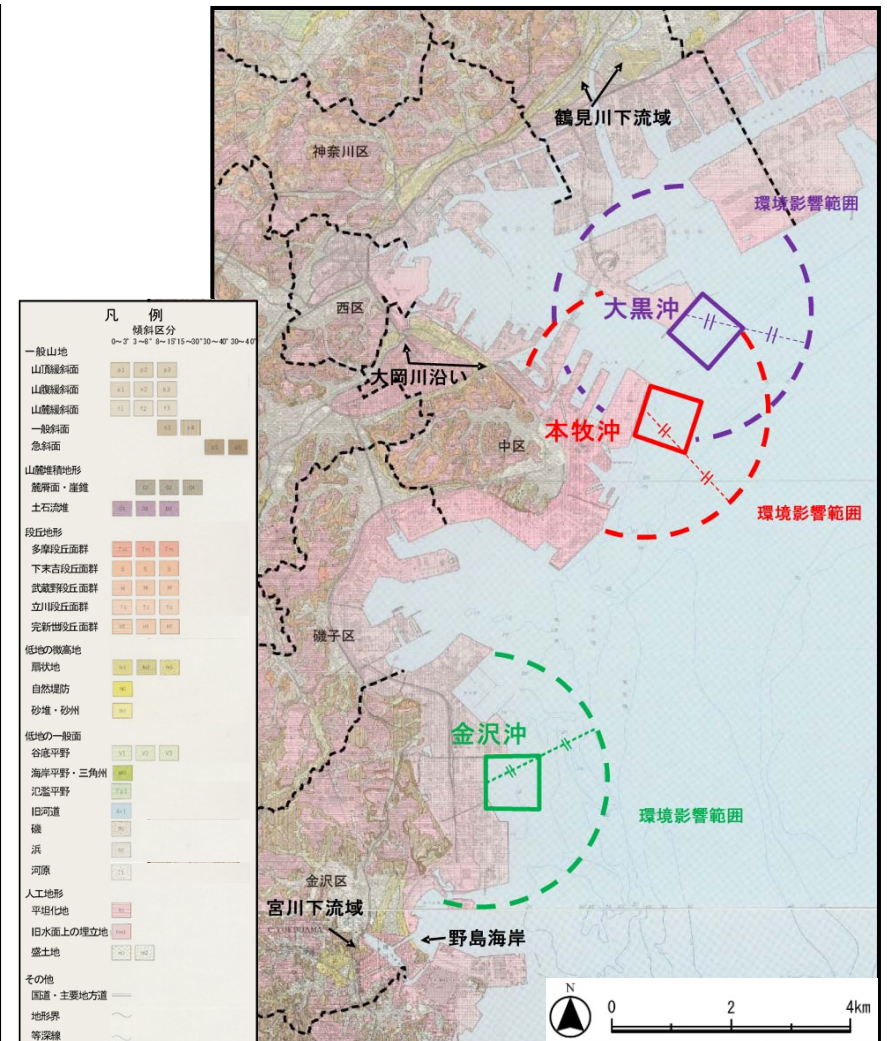


出典：（公財）横浜市緑の協会ホームページ

## ■ 予測の結果（地形及び地質）

埋立候補地	影響検討範囲	影響検討範囲内に存在する自然の海岸等
大黒沖	半径約2.7km内	範囲内：— (周辺:鶴見川下流域)
本牧沖	半径約2.7km内	範囲内：— (周辺：大岡川沿い)
金沢沖	半径約2.7km内	範囲内：— (周辺：宮川下流域 野島海岸)

## ■ 土地分類図



出典：「土地分類基本調査（横浜・東京西南部）地形分類図、昭和63年度調査」  
国土交通省国土政策局 国土情報課  
「土地分類基本調査（横須賀・三崎）地形分類図、昭和59年度調査」  
国土交通省国土政策局 国土情報課

## ■ 海底地形等への影響

現況の水深は、以下のとおりです。

- 大黒沖：概ね16～20m
- 本牧沖：概ね19～23m
- 金沢沖：概ね11～21m

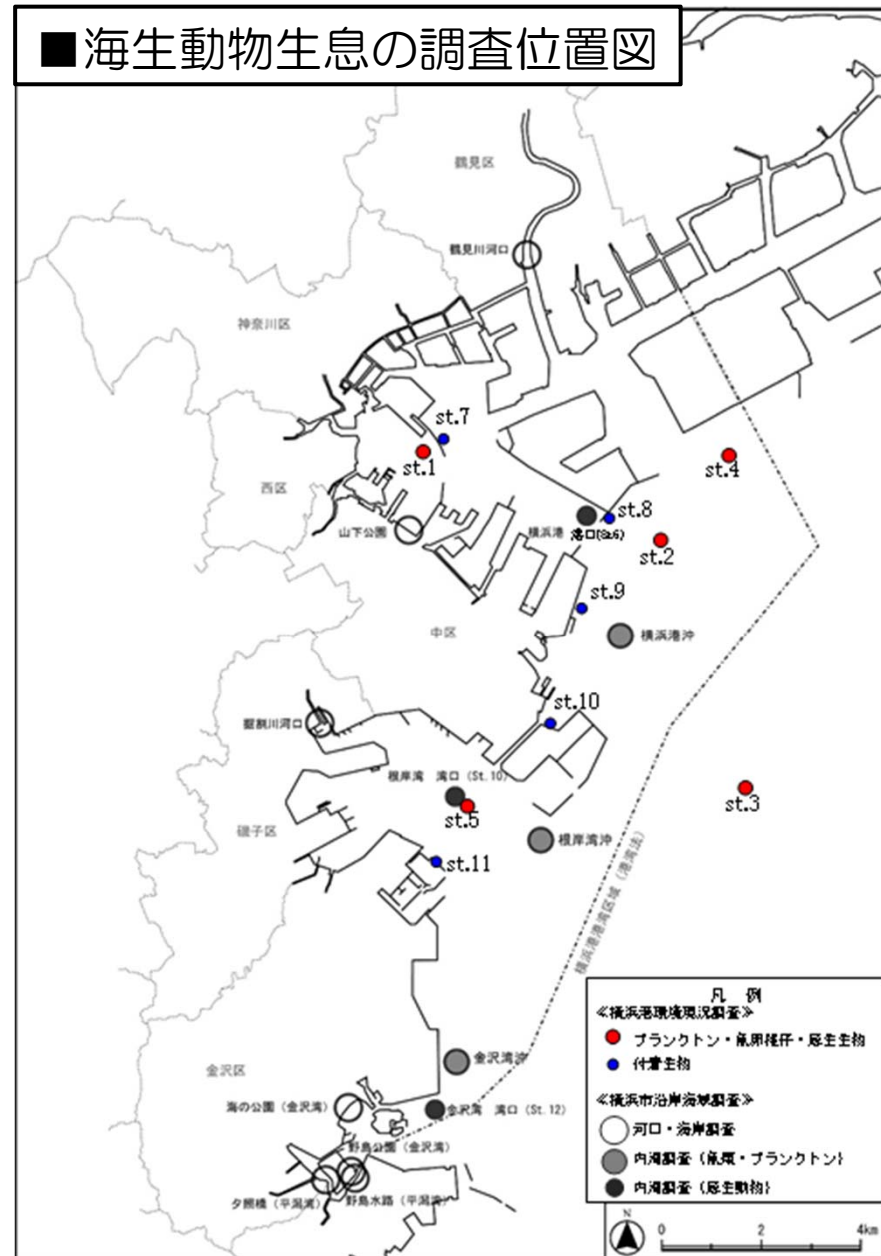
水深が深い方が、本事業に伴う浚渫量は少ないため、海底地形への影響は小さいと考えられます。

(表) 浚渫量の相対比較

埋立候補地	浚渫量の相対比較
大黒沖	金沢沖よりも少なく、本牧沖よりも多い。
本牧沖	他の案と比較して少なく、影響が小さいと考えられます。
金沢沖	他の案と比較して多く、影響が大きいと考えられます。

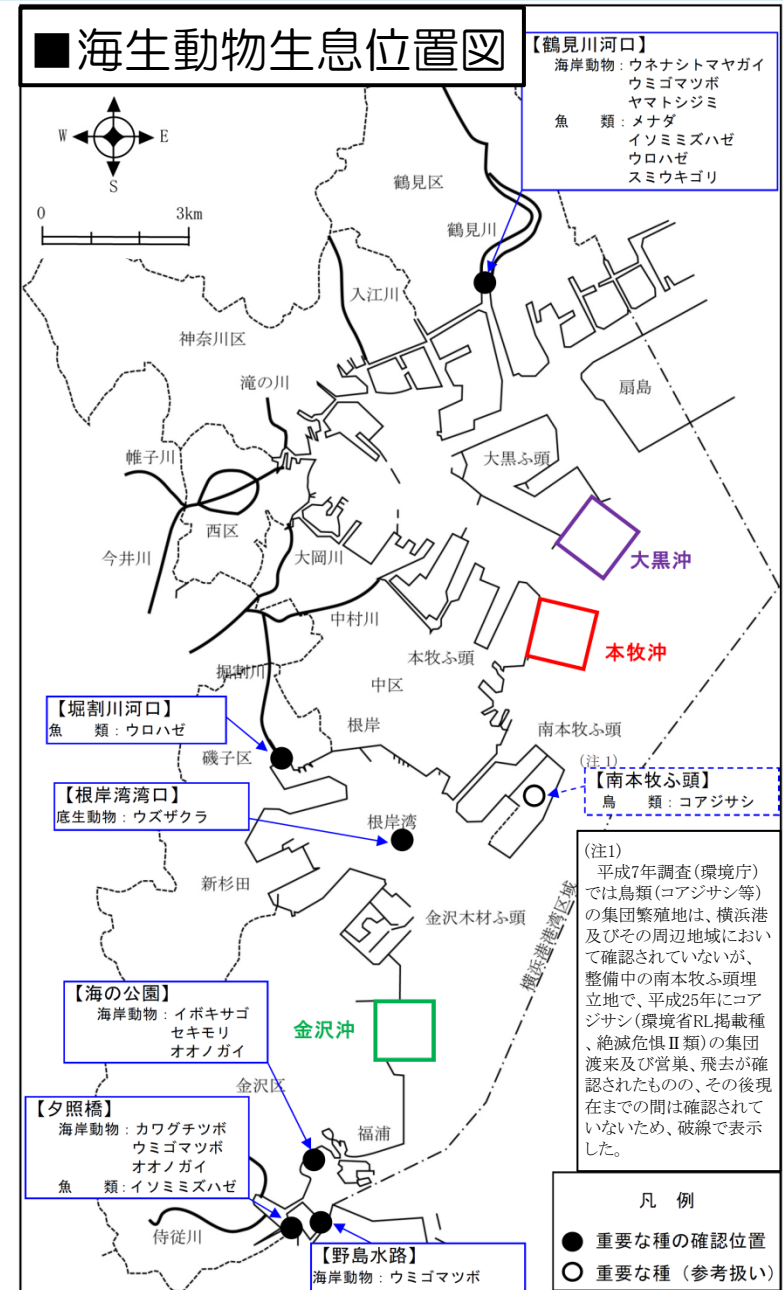
## ■調査の結果（動物）

- 埋立候補地となる沿岸部において、既存資料により海生動物の調査が行われている点は右図に示すとおり。



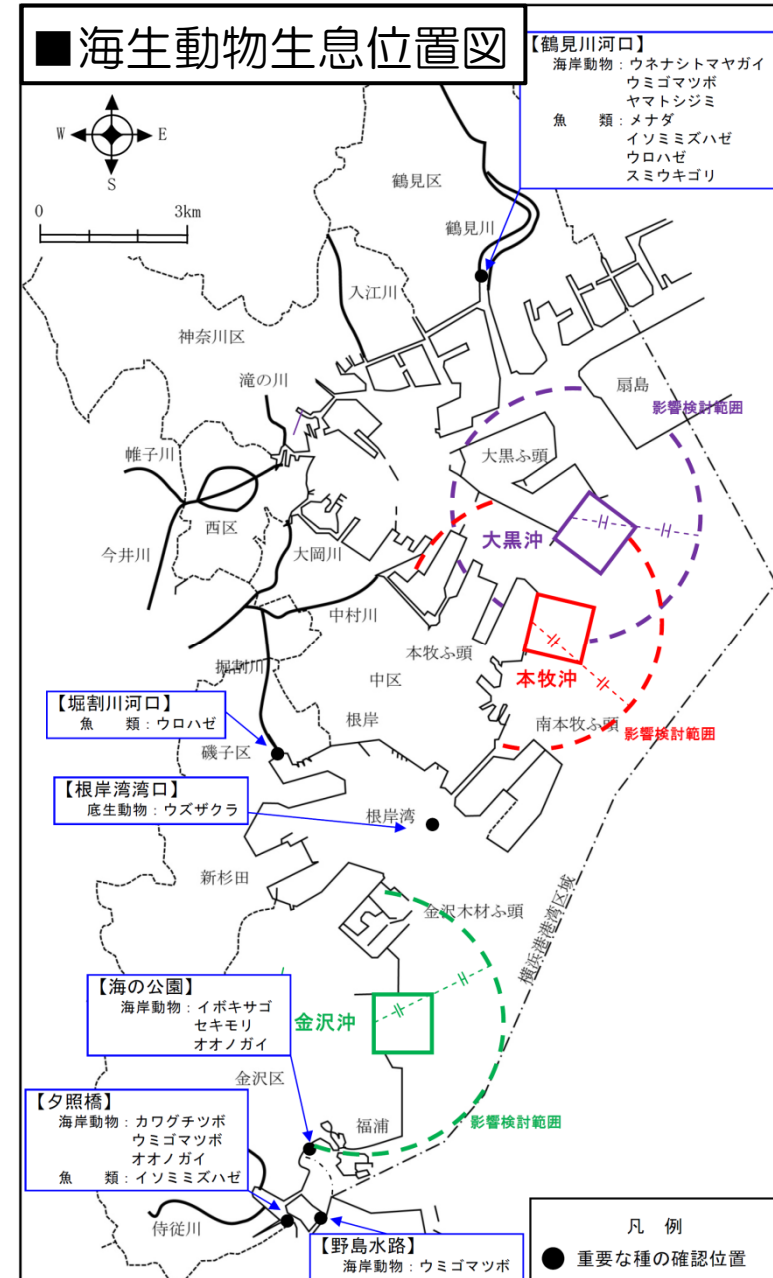
## ■調査の結果（動物）

- 埋立候補地となる沿岸部において、既存資料(環境省RL、神奈川県RDB等)で確認されている**海生動物の重要な種(海岸動物7種、魚類4種、底生動物1種)**の確認位置は右図に示すとおり。



## ■ 予測の結果（動物）

- 海生動物の重要な種の確認位置に影響検討範囲を重ねた結果は右図に示すとおり。
- 金沢沖の場合は、重要な種が確認された海の公園が影響検討範囲に含まれる。



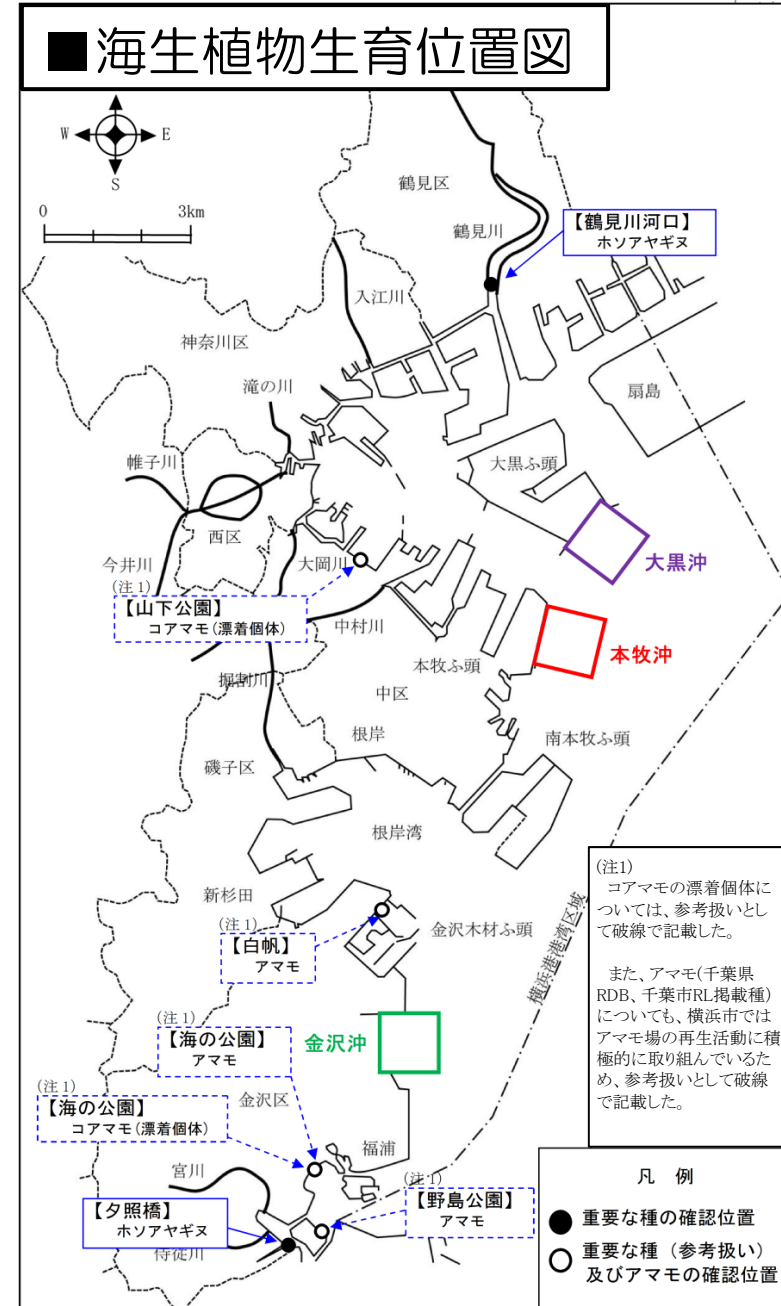
## ■ 予測の結果（動物）

（表）影響検討範囲に存在する海生動物の重要な種の確認地域

埋立候補地	影響検討範囲	影響検討範囲内に存在する重要な種の確認地域
大黒沖	半径約2.7km内	範囲内：－ (周辺：鶴見川河口)
本牧沖	半径約2.7km内	範囲内：－
金沢沖	半径約2.7km内	範囲内：海の公園 (周辺：根岸湾湾口、野島水路、夕照橋)

## ■調査の結果（植物）

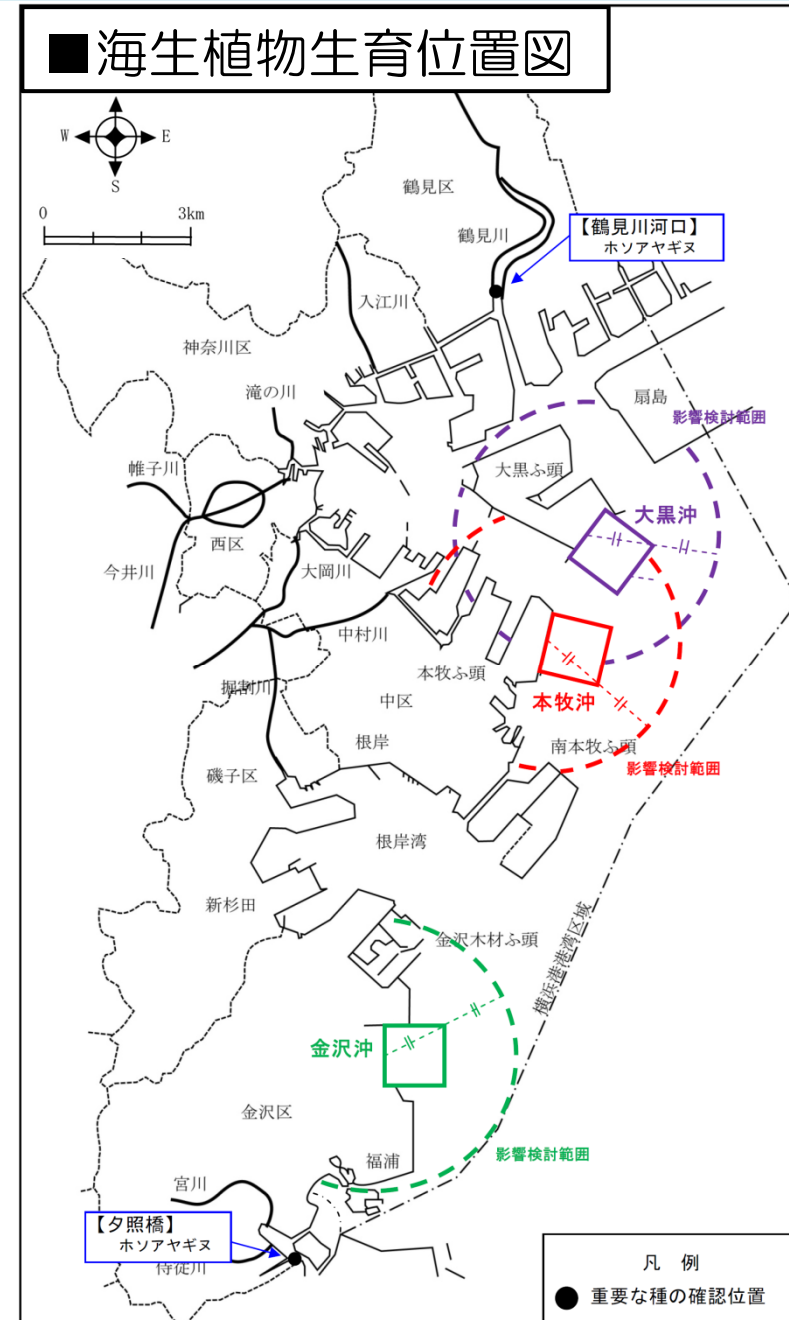
- 埋立候補地となる沿岸部において、既存資料(環境省RL、神奈川県RDB等)で確認されている**海生植物の重要な種(海藻・草類2種)**の確認位置は右図に示すとおり。





## ■ 予測の結果（植物）

- 海生植物の重要な種の確認位置に影響検討範囲を重ねた結果は右図に示すとおり。
- **影響検討範囲内には重要な種の確認地域は存在しない。**



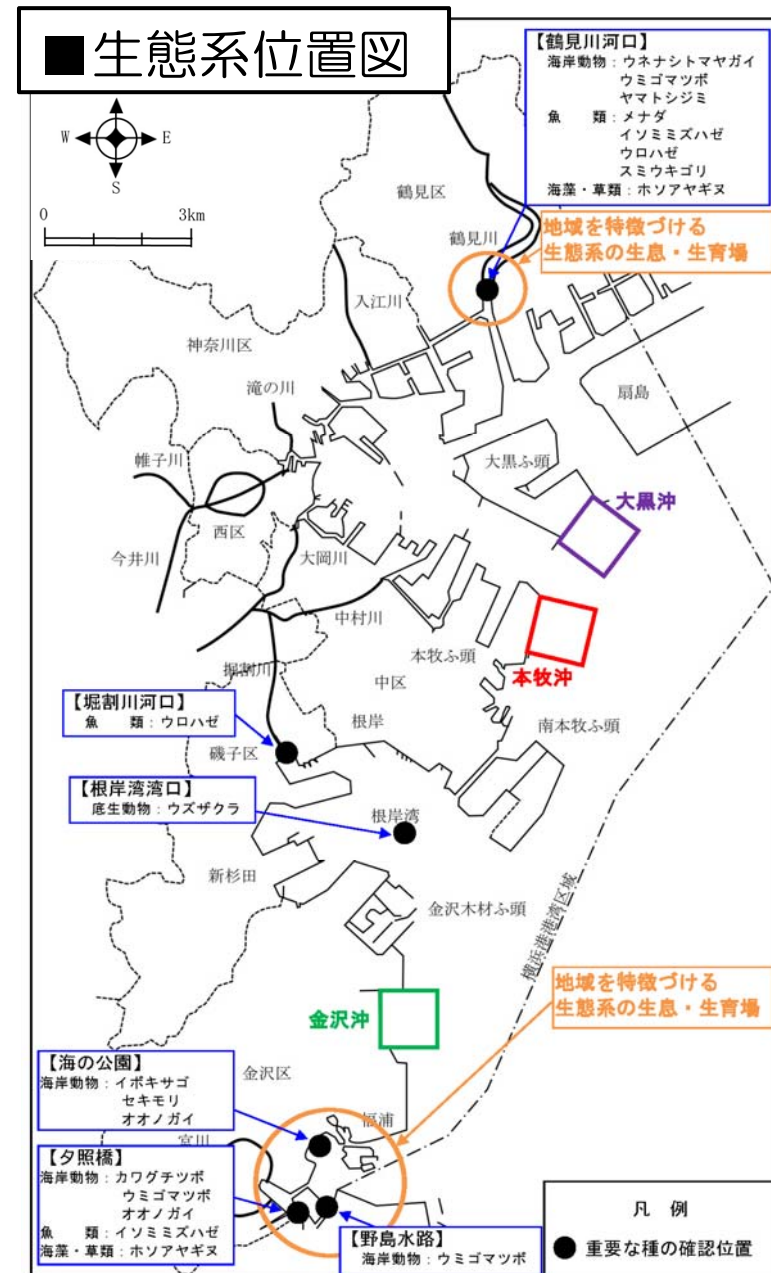
## ■ 予測の結果（植物）

（表）影響検討範囲に存在する海生植物の重要な種の確認地域

埋立候補地	影響検討範囲	影響検討範囲内に存在する重要な種の確認地域
大黒沖	半径約2.7km内	範囲内：－ (周辺：鶴見川河口)
本牧沖	半径約2.7km内	範囲内：－
金沢沖	半径約2.7km内	範囲内：－ (周辺：夕照橋)

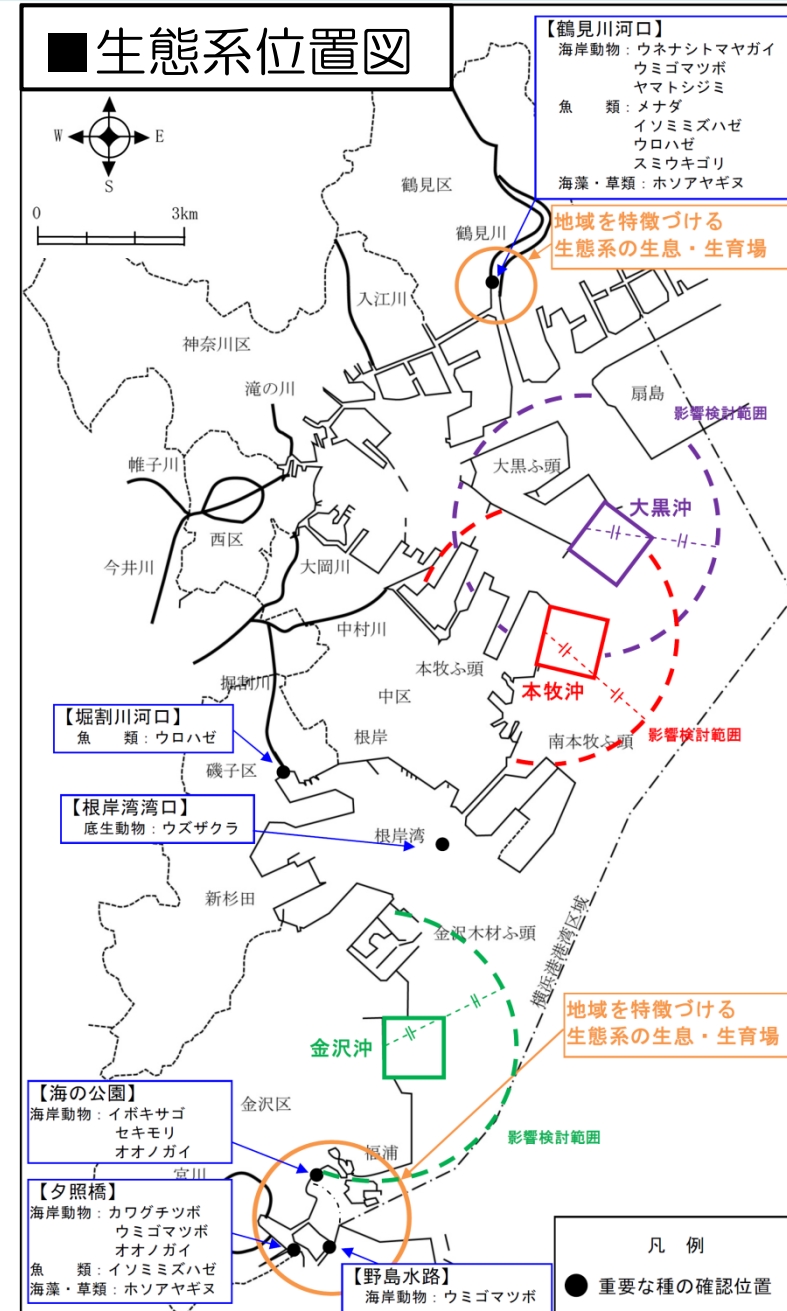
## ■調査の結果（生態系）

- 動物では、河口の干潟にすむ貝類、魚類を中心としたRL等掲載種が確認
- 植物では、鶴見川河口、夕照橋において環境省RL掲載種であるホソアヤギヌ（準絶滅危惧）が確認
- 鶴見川河口、及び平潟湾の河口・海岸域は、地域を特徴づける生態系の生息・生育場



## ■ 予測の結果（生態系）

- 地域を特徴づける生態系の生息・生育場の位置に影響検討範囲を重ねた結果は右図に示すとおり。
- 金沢沖の場合は、地域を特徴づける生態系の場合である海の公園が影響検討範囲に含まれる。



## ■ 予測の結果（生態系）

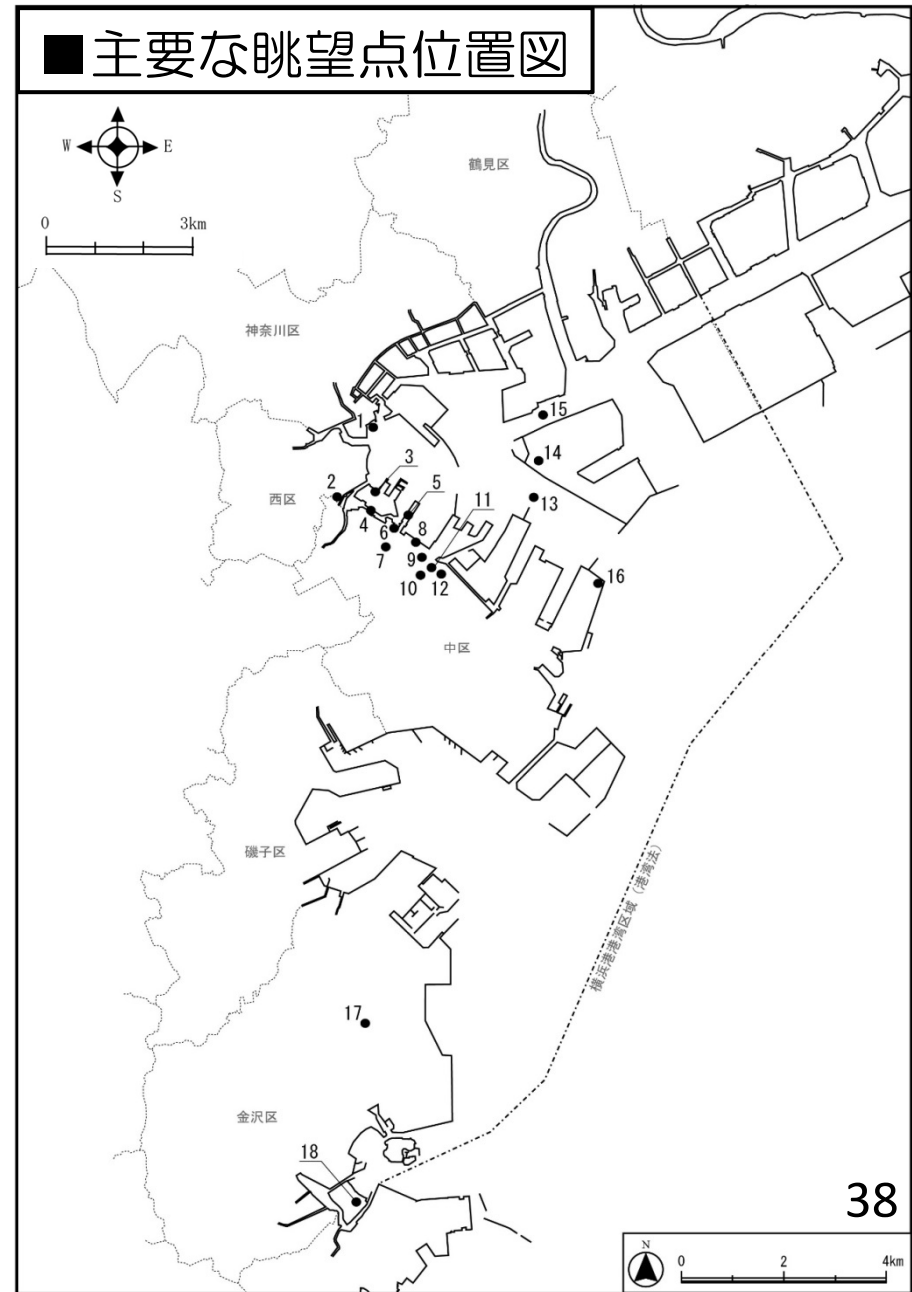
（表）影響検討範囲に存在する地域を特徴づける生態系の場

埋立候補地	影響検討範囲	影響検討範囲内に存在する地域を特徴づける生態系の場
大黒沖	半径約2.7km内	範囲内：— (周辺：鶴見川河口)
本牧沖	半径約2.7km内	範囲内：—
金沢沖	半径約2.7km内	範囲内：海の公園 (周辺：夕照橋、野島水路)

## ■調査の結果（景観）

- 埋立候補地の周辺の主要な眺望点及び位置は、右図に示すとおり。

図中番号	名称
1	コットン大橋
2	横浜ランドマークタワー
3	カップヌードルミュージアムパーク
4	万国橋
5	大さん橋
6	臨港線プロムナード
7	日本大通り
8	山下公園
9	マリンタワー
10	アメリカ山公園
11	フランス山
12	港の見える丘公園
13	横浜ベイブリッジ
14	大黒ふ頭中央公園
15	大黒大橋
16	横浜港シンボルタワー
17	長浜みはらし公園
18	野島公園 展望台



## ■ 予測の結果（景観）

- 各埋立候補地から約3kmの範囲に存在する主要な眺望点は、下表に示すとおり。

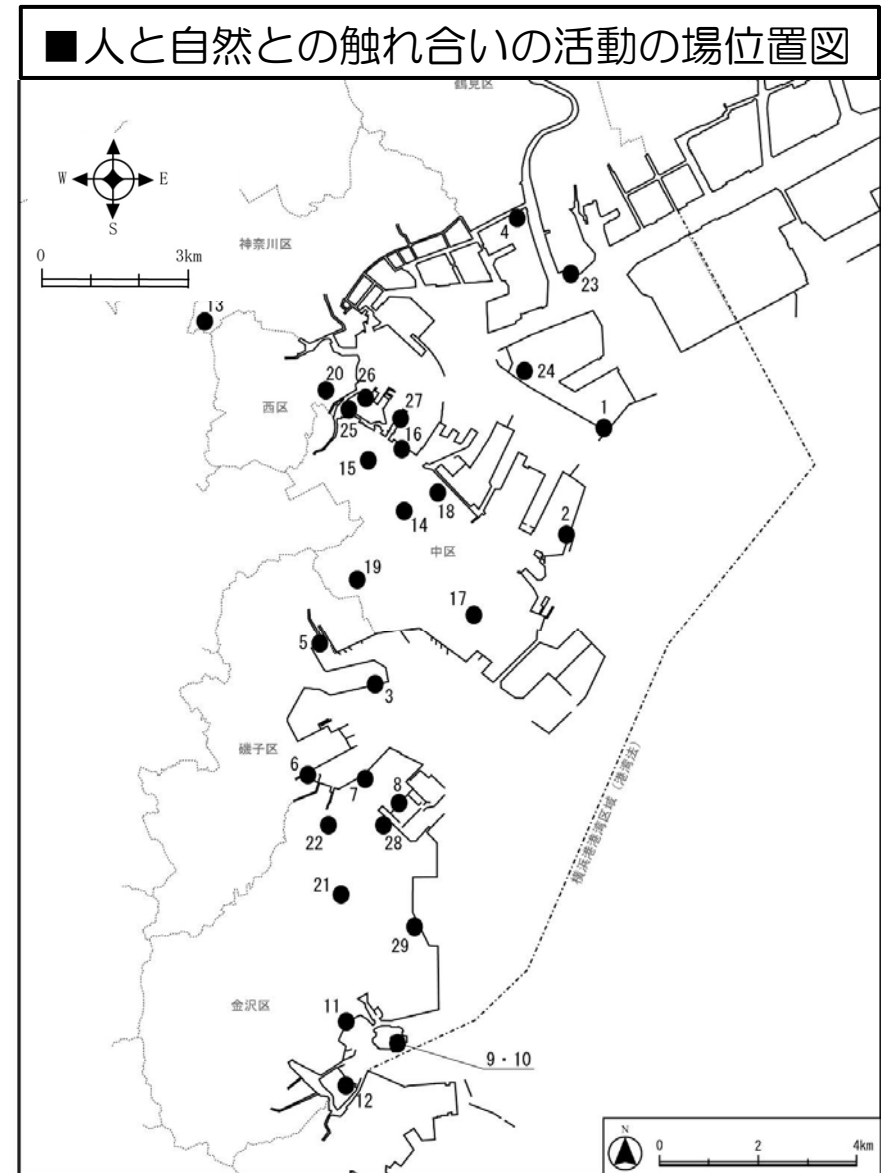
（表）埋立候補地から約3kmの範囲に存在する主要な眺望点

埋立候補地	約3kmの範囲に存在する主要な眺望点
大黒沖	横浜ベイブリッジ 大黒ふ頭中央公園 大黒大橋 横浜港シンボルトワー
本牧沖	横浜ベイブリッジ 大黒ふ頭中央公園 横浜港シンボルトワー
金沢沖	長浜みはらし公園

## ■調査の結果（人と自然との触れ合いの活動の場）

- 埋立候補地周辺における主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況は、右図に示すとおり。

番号	名称	番号	名称
1	大黒海づくり施設	16	山下公園
2	本牧海づくり施設	17	本牧臨海公園 本牧市民公園
3	磯子海づくり施設	18	港の見える丘公園
4	KMC横浜マリーナ	19	根岸森林公園
5	横浜市民ヨットハーバー	20	グランモール公園 (美術の広場)
6	平野ポートヨコハママリーナ	21	長浜公園
7	シーサイドマリーナ	22	富岡総合公園
8	横浜ベイサイドマリーナ	23	末広水際線 プロムナード
9	八景島マリーナ	24	大黒ふ頭緑地
10	シーパラダイスマリーナ	25	運河パーク・自動車
11	海の公園	26	カップヌードル ミュージアムパーク
12	野島公園	27	大さん橋ふ頭緑地
13	三ツ沢公園	28	木材ふ頭緑地
14	山手公園	29	水際線緑地
15	横浜公園		





## ■ 予測の結果（人と自然との触れ合いの活動の場）

- 各埋立候補地から約0.5kmの範囲に存在する主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、下表に示すとおり。

（表）埋立候補地から約0.5kmの範囲に存在する  
主要な人と自然との触れ合いの活動の場

埋立候補地	約0.5kmの範囲に存在する 主要な人と自然との触れ合いの活動の場
大黒沖	大黒海づり施設
本牧沖	本牧海づり施設
金沢沖	水際線緑地

# 目次

---

- 1 事業の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
- 2 横浜港新規心頭公有水面埋立事業の概要・・・P.9
- 3 事業実施想定区域及びその周辺の概況・・・・P.12
- 4 計画段階配慮事項の選定及び選定理由・・・・P.15
- 5 調査および予測の手法・結果の概要・・・・P.20
- 6 各環境要素における評価の結果・・・・・・・・P.43

## (1) 評価の手法

評価は、埋立候補地ごとに環境要素ごとの予測値の比較、あるいは影響の程度を定性的に相対比較する手法としました。

環境要素ごとに選定した計画段階配慮事項の評価の手法を次のスライド以降に示します。

(1) 評価の手法

(表) 計画段階配慮事項の評価の手法

環境要素		評価の手法
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	水質	埋立候補地ごとに、埋立地の概ねの位置から影響検討範囲において、水質、水底の底質、地形及び地質への影響を相対比較
	水底の底質	
	地形及び地質	

(1) 評価の手法

(表) 計画段階配慮事項の評価の手法

環境要素		評価の手法
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	埋立候補地ごとに、埋立地の概ねの位置から影響検討範囲において、重要な種の生息・生育確認地域、及び地域を特徴づける生態系の場への影響を相対比較
	植物	
	生態系	

(1) 評価の手法

(表) 計画段階配慮事項の評価の手法

環境要素		評価の手法
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	埋立候補地ごとに、埋立地の概ねの位置から影響検討範囲において、主要な眺望点、及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場へ影響を相対比較
	人と自然との触れ合いの活動の場	

### (2) 評価の結果

#### ■選定

①「水質」、②「水底の底質」、③「地形及び地質」、④「動物」、⑤「植物」、⑥「生態系」、⑦「景観」、⑧「人と自然との触れ合いの活動の場」の8項目を計画段階配慮事項として選定しました。

#### ■予測



予測に際しては、各環境要素ごとに設定した影響検討範囲、及びその周辺における各環境要素への影響について予測を行いました。

#### ■評価



さらに、その予測結果をもとに各案の予測値や影響の程度についての相対比較による評価を行いました。

## 6 各環境要素における評価の結果

配慮書p.71～72

環境要素	評価の結果		
	大黒沖	本牧沖	金沢沖
水質	金沢沖案に比べて水質変化が生じるおそれがあります。	金沢沖案に比べて水質変化が生じるおそれがあります。	他の案に比べて水質への影響は小さいと考えられます。
水底の底質	周辺海域に細粒分の堆積等が生じるおそれがあります。	周辺海域に細粒分の堆積等が生じるおそれがあります。	周辺海域に細粒分の堆積等が生じるおそれがあります。
地形及び地質	浚渫量は、金沢沖案よりも少なく、本牧沖案よりも多いと考えられます。自然の海岸等は存在しません。	浚渫量は、他の案と比較して少なく、影響が小さいと考えられます。自然の海岸等は存在しません。	浚渫量は、他の案と比較して多く、影響が大きいですと考えられます。自然の海岸等は存在しません。
動物	存在しません。	存在しません。	海の公園が含まれます。
植物	存在しません。	存在しません。	存在しません。
生態系	存在しません。	存在しません。	海の公園が含まれます。
景観	横浜ベイブリッジ、大黒ふ頭中央公園、大黒大橋、横浜港シンボルトワーが存在します。	横浜ベイブリッジ、大黒ふ頭中央公園、横浜港シンボルトワーが存在します。	長浜みはらし公園が存在します。
人と自然との触れ合いの活動の場	大黒海づり施設が存在します。	本牧海づり施設が存在します。	水際線緑地が存在します。



以上で説明を終わります。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。